



からだステーション

2025年
12月号
荻窪接骨院
荻窪治療室

ドジャース 2025

2024年、2025年とワールドシリーズを連覇したロサンゼルス・ドジャース。その中心に3人の日本人選手が居ました。佐々木朗希、山



本由伸、そして大谷翔平です。ワールドシリーズで日本人選手が3人も活躍するとは本当に素晴らしいことです。今回はドジャースの1年間を振り返り、3人の日本人選手

の活躍を見ていきます。

開幕

2025年のシーズンは3月18日、東京ドームでのシカゴ・カブスとの対戦から始まりまし

対決となりました。この試合は4対1でドジャースの勝利となり、山本由伸が勝利投手となっ

ています。チームは開幕戦から勝利を重ね、4月2日に大谷翔平のサヨナラ本塁打で勝利すると、前年のワールドシリーズを制した世界一

佐々木朗希

2025年1月17日、ロサンゼルス・ドジャースとマイナー契約を結んだことを自身のInstagramで発表し、その後3月18日にメジャー契約を結び、開幕ロースター入りしました。ロースターとは、チ

格を持つ選手登録枠のことです。

3月19日の開幕第2戦に先登板し、メジャー初登板を果たしました。しかし制球に苦しみ、3回被安打1、3奪三振5四球1失点で降板していま



す。その後右肩の不調を訴え、インピンジメント症候群を発症していたことが判明し、5月13日に故障者リスト入りしました。6月には実戦復帰の目処が立たないことから、ロバーツ監督が同年シーズンを全休させる可能性を示唆し、6月20日に60日間の故障者リストに移行されました。9月下旬にリリーフピッチャーとして復帰し、ポストシーズンでは抑えとして新境地を見せ、9試合で3セーブ、防御率0.84という活躍を見せまし

た。ロバーツ監督は「ロウキはシーズン序盤でとてもタフな時期を過ごした。でも、健康な状態で戻ってきて、とても大きな貢献をしてくれた。ロウキは今年大きな成長を成

山本由伸

山本由伸のレギュラーシーズンの成績は、30登板12勝8敗、防御率2.49、奪三振は驚異の201個です。MLB2年目の山本は初の二桁勝利を上げ、大躍進を遂げました。しかし本





ジャース、ブルージェイズとも1勝1敗で迎えたワールドシリーズ第3戦は、延長18回に及ぶ熱戦となりました。ドジャースは大谷翔平の4長打の活躍で5対5の同点に追いつき、さらに佐々木朗希の好リリーフもあって試合は延長戦に突入。両チームともに決死の継投でピンチをしのぎ続け、延長18回ついにフレディ・フリーマンがサヨナラホームランで試合を決めました。延長18回ともなると投手が底をつき、第2戦で完投勝利を上げた山本がブルペンでピッチングを始めました。それを見たフリーマンは「山本には絶対に投げさせない。俺がこの試合を終わらせる」と思って打席に立ったと後に語っています。ブルージェイズが3勝2敗と王手をかけて迎えたワールドシリーズ第6戦は、山本由伸が粘りの好投でドジャースを勝利に導きました。山本は走者を背負いながらも要所を締め、6回1失点でポストシーズン4勝目をあげています。そして3勝3敗で迎えた第7戦、この試合に

勝った方が世界一となります。先発は大谷翔平でしたが3回にスリーランを打たれ、終始ブルージェイズに押される展開でした。9回ミゲル・ロハスのホームランで4対4の同点に追いつくと、9回のマウンドに上がったのは山本由伸でした。試合は延長戦に突入し、延長11回表にウィル・ミスのホームランで5対4の逆転となり、山本は前日の第6戦で先発した24時間後に、第7戦の最後2回^{2/3}を無失点で締めくくりました。この勝利の立役者であり、チームの大黒柱となった山本はワールドシリーズMVPを受賞しました。

大谷翔平

今シーズン二刀流を復活させた大谷翔平。レギュレーションの成績は、投手としては14試合に登板し、1勝1敗、防御率^{2.87}、奪三振⁶²で、十分すぎる成績です。打者としては158試合に出場し、打率^{2割8}



分2厘、打点¹⁰²、ホームラン⁵⁵本、3年連続のホームラン王は逃したものの、シーズン55本のホームランは自己最高の記録です。ポストシーズンに入ってもその勢いは止まらず、むしろ勢いが加速しました。ナ・リーグ優勝決定戦ブルワーズとの第4戦、大谷は初回からエンジン全開でした。先ずは投手として3つのアウトをすべて三振で奪うと、直後の打撃では先頭打者ホームランで先制点をもたらしました。このホームランで大谷は「ポストシーズンで初めて先頭打者ホームランを放った投手」となったのです。4回と7回にもホームランを放ち、この日の大谷は6回2安打無失点、10奪三振、3本塁打となり、同一試合で10個の三振を奪い、3本のホームランを打ったのは史上初の快挙となりました。そしてワールドシリーズ第3戦は記録づくしの試合となりました。先ず延長18回はイニング数



患者様の声をお聞かせください
下記QRコードを読み込んで、治療を受けた感想などをお聞かせください。今後のより良い治療に活かしていきます。



参考文献 Jsports コラム&ニュース/MLB App/時事ドットコム ニュース/ヤフーニュース

として、ワールドシリーズ史上最長タイ記録であり、ポストシーズンで見ても史上最長タイ記録となりました。そしてこの試合で「1番指名打者」でスタメン出場した大谷が最初の4打席で2本塁打、2二塁打をマークし、ワールドシリーズでの1試合4長打は史上2人目の快挙であり、その後4打席連続の申告敬遠は史上最多となったのです。今年も数々の記録を塗り替えた大谷翔平は3年連続4回目のMVPを受賞し、世界一のスーパースターとなりました。いかがでしたか？来年3月からWBCが始まりますから、3人の選手に出場してもらいたいですね。これから日本人3選手の活躍に期待しましょう！